

自律・貢献・創造



真のスマイルをめざして

今年で11年目を迎えたスマイル集会は、昨年改定した「新・スマイル宣言」を含めたスマイル宣言の成り立ちと、今の精華中の実態を知り、どんな行動や思いが「真のスマイル」につながるかを考えました。昨年に引き続き、全校が体育館に集まり、全体で意見交流をしましたが、一人ひとりが真剣に考え、積極的に交流することで、様々な意見や考え方を知ることができました。話すときと聞くとときと区別ができることで、700人近い規模でも、素晴らしい交流ができました。

「真のスマイル」は昨年度の卒業式の答辞で、卒業生がみなさんに託したメッセージです。表面上だけではなく、本当に誰もが安心して楽しい学校生活を送るためには、精華中学校の生徒全員が同じ思いを共有することと、仲間の思いなどのような見えないものを見ようとすることが大切です。スマイル集会では「相手を認める＝受け入れる」「相手のことを考える事で、真のスマイルが生み出されるのではないか」ということを確認しました。「真のスマイル」に向けて、できることから行動していくみなさんであってほしいと思います。



2. 真のスマイルを生み出すために、自分なら何をしますか

生徒の命と安全を最優先します

梅雨となり、湿度が高い日が続いています。また、気温が高い日もあることから、学校では、熱中症予防の対応をしています。登下校時も、帽子や日傘など、熱中症予防を最優先した対策をしてください。また、暑さ指数(WBGT)が31℃以上の時は、急遽、部活動等を中止する場合がありますので、御理解ください。(夏季休業中も同様です)

ここ数年、ゲリラ豪雨などの大雨が心配されています。警報発令時の対応については、学校ホームページまたは精華中ナビに掲載されていますので、御確認ください。警報発令の時間帯によっては、給食前に下校する場合や、放課後に学校で待機する場合があります。その際はスマート連絡帳にて連絡いたします。命と安全を最優先して対応をしますので御理解ください。

岐阜市少年の主張大会2024

6/22(土)に開催された岐阜市少年の主張大会に、3年生生徒が出場しました。大変力強く、熱い思いが伝わる主張でした。その内容を次頁に紹介します。

7月の主な行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	月	大掃除週間(～19日)	12	金	体育祭結団式⑥
3	水	いじめについて考える日	18	木	キャリア教育講話⑥
4	木	校外研修(授業公開学級以外は給食後下校)	19	金	夏休み前学年集会(給食後下校)
8日(月)～11日(木) 個別懇談 ※4時間授業(給食あり)			※20日(土)、21日(日)は岐阜県教員採用試験の会場となるため、関係者以外は敷地内には入れません。ご了承ください。		

※8/2(金)～8/17(土)は学校閉庁期間として、原則、学校に職員は不在となります。また、電話も留守番電話対応となりますので、御理解をお願いします。緊急の場合は、市教委緊急電話に連絡をお願いします。

「ボランティアが教えてくれたこと」

僕は中学1年の時にボランティア活動に出会いました。当時の僕は周りの部活や塾の忙しさとは真逆のどうしようもなく暇な休日をご過ごしていました。そんな時飛び込んできたのが、地域の川の清掃のボランティア。「暇だし、やってみてもいいかな」というくらいの軽い気持ちで参加してみることにしました。

当日現地に行ってみると、中学生は5、6人しかいません。「大丈夫かな。」という不安の中でのスタートでしたが、それでも地域の方の指示に従い、みんなで大きなゴミ袋何袋分にもなる草を集めました。終わったころにはへとへとでした。しかし、最後に地域の方からいただいた「ありがとう」という言葉がそれまでの疲れを一気に吹き飛ばしました。その時感じた喜びや満足感は今でもはっきり心に残っています。地域の方からいただいた感謝の言葉は「自分でも役に立ってるんだ」「感謝してもらえるんだ」という自分の存在の意義を強く感じさせてくれるものでした。

それから現在に至るまで、歴史博物館での解説の活動や、ジュニアリーダーとしてのイベントのサポートなど様々な分野のボランティア活動を行っています。歴史博物館での解説活動のボランティアは、学校の授業では教えてくれないようなより深く細かい歴史の知識や、来館者の方と一対一で解説を行っていく「話の技術」を身に付けることができました。ジュニアリーダーの活動では、子どもたちと一緒にバルーンアートやレクリエーションを行う中で、子どもたちのはじけるような笑顔に接すると本当に充実感があり、自分もエネルギーをもらいました。このように学校生活だけではできない経験やふれあい、そして何よりも活動を通して出会ったたくさんの方々から笑顔をいただくことがボランティアの魅力であり、僕が活動を続ける原動力です。また、地域の方々とより深く関わることができるようになったのも自分の財産です。同じ地域に住んでいるとはいえ、ボランティアに行かなければ出会えなかった人々と関わり、交流を深めることができました。

しかし、ボランティア活動はコロナ禍の影響もあって、学校内ではまだマイナーな活動で、参加者も少ないという現状がありました。「もっとボランティア活動を学校中に広めたい」そんな思いで2年生から生徒会の執行委員を務めました。当時は同じ思いをもった人も少なく、冷たい目で見られることもありましたが、でも僕は、少しでも多くの人に興味をもってもらい、活動に参加してもらいたいと思い、給食時の校内放送で「ボランティアニュース」を立ち上げました。そして全校に向けてボランティアの紹介や、参加者へのインタビューなどの情報を発信し続けました。

それから1年。執行委員から生徒会長という立場になった今、情報発信の成果もあってかボランティアの知名度は入学時よりも高まり、参加者も増えてきています。今、精華中学生徒会では、仲間を思いやって行動し、仲間のスマイルを増やしていこうとするスマイル活動に力を入れています。もちろんボランティア活動もその一つです。そして今年の生徒会スローガンは「顔晴れ！」に決まりました。相手のことを思って自分から動くことで、みんなのスマイルを増やしていこうという思いが込められています。ボランティア活動が活発になったことにより、校内では誰かのために行動する生徒が増え、おのずと笑顔の輪も大きくなっています。

ボランティアを通じた様々な人たちとの出会いの中で周りの人たちと向き合い、行動し、気持ちを伝え合うことでお互いを理解し、本当のスマイルが生まれます。これこそが今を生きる僕たちにとって大切なことだと思います。

小さなきっかけから出会ったボランティアが、地域の方々や仲間とのかかわりを生み出しました。ボランティアに出会えなかったら、生徒会長になっていなかったことでしょう。もし募集を見たあの時「面倒くさいからいいや」と何も行動しなかったら生まれなかった関わりです。その小さな一つの行動が僕の人生を大きく変えました。ボランティアが僕に行動の大切さを教えてくれたのです。これからも、さらなる出会いと成長を求めて行動を起こしていきます。